



「魅力ある人を育て

新しい価値を創造し続けるまち大槌」の実現に向けて

令和4年度

大槌町総合開発計画評価委員会

日時：令和4年8月9日（火）午後5時30分～

場所：大槌町役場 大会議室

令和 3 年度大槌町総合計画 実施状況について

- 1.はじめに
- 2.令和 3 年度の取り組みについて
- 3.総合計画目標指標の進捗について
- 4.令和 3 年度の主要事業について

1. はじめに

- ①第9次大槌町総合計画の趣旨・体系
- ②まちづくりの基本理念・基本方針
- ③まちづくりの基本理念・基本方針の体系
- ④総合計画の推進体制・PDCAサイクル

①第9次大槌町総合計画の趣旨・体系

町の総合的な指針

復興計画の後継

町民と行政の協働

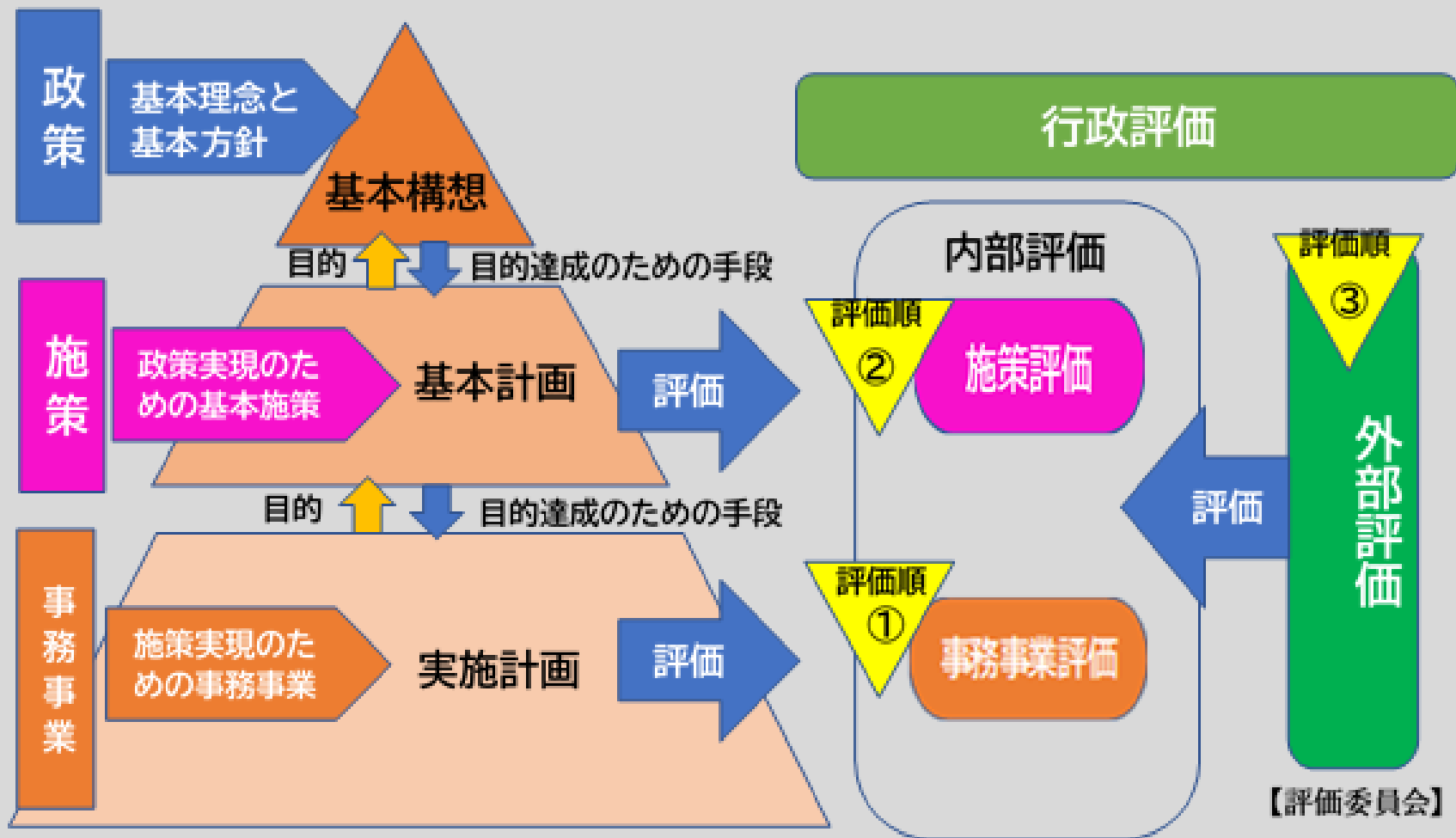
持続可能なまちづくり

大槌町地方創生総合戦略



①第9次大槌町総合計画の趣旨・体系

総合計画の体系



②まちづくりの基本理念・基本方針の体系

基 本 理 念

「魅力ある人を育て、新しい価値を創造し続けるまち大槌」

産業・観光

基本
方針

1

産業を振興し町民所得を向上させるまちづくり

健康・福祉

基本
方針

2

健康でぬくもりのあるまちづくり

教育・文化

基本
方針

3

学びがふるさとを育て
ふるさとが学びを育てるまちづくり

安全・快適

基本
方針

4

安全性と快適性を高めるまちづくり

地域振興・
行財政運営

基本
方針

5

将来を見据えた持続可能なまちづくり

震災復興

基本
方針

6

未来につなげる着実な復興まちづくり

②まちづくりの基本理念・基本方針の体系

基本理念

「魅力ある人を育て、新しい価値を創造し続けるまち大槌」

基本計画

指標合計 48項目

産業・観光

基本方針 1

○産業を振興し町民所得を向上させるまちづくり

基本施策①

目標指標 [3項目]

おおつちの自然を活かし、継承する一次産業の実現

基本施策②

目標指標 [2項目]

働きやすく、骨太なおおつちの商工業の推進

基本施策③

目標指標 [1項目]

おおつちらしい観光物産戦略の展開

令和3年度 201事業

実施計画

基本施策実施計画 [9事業]

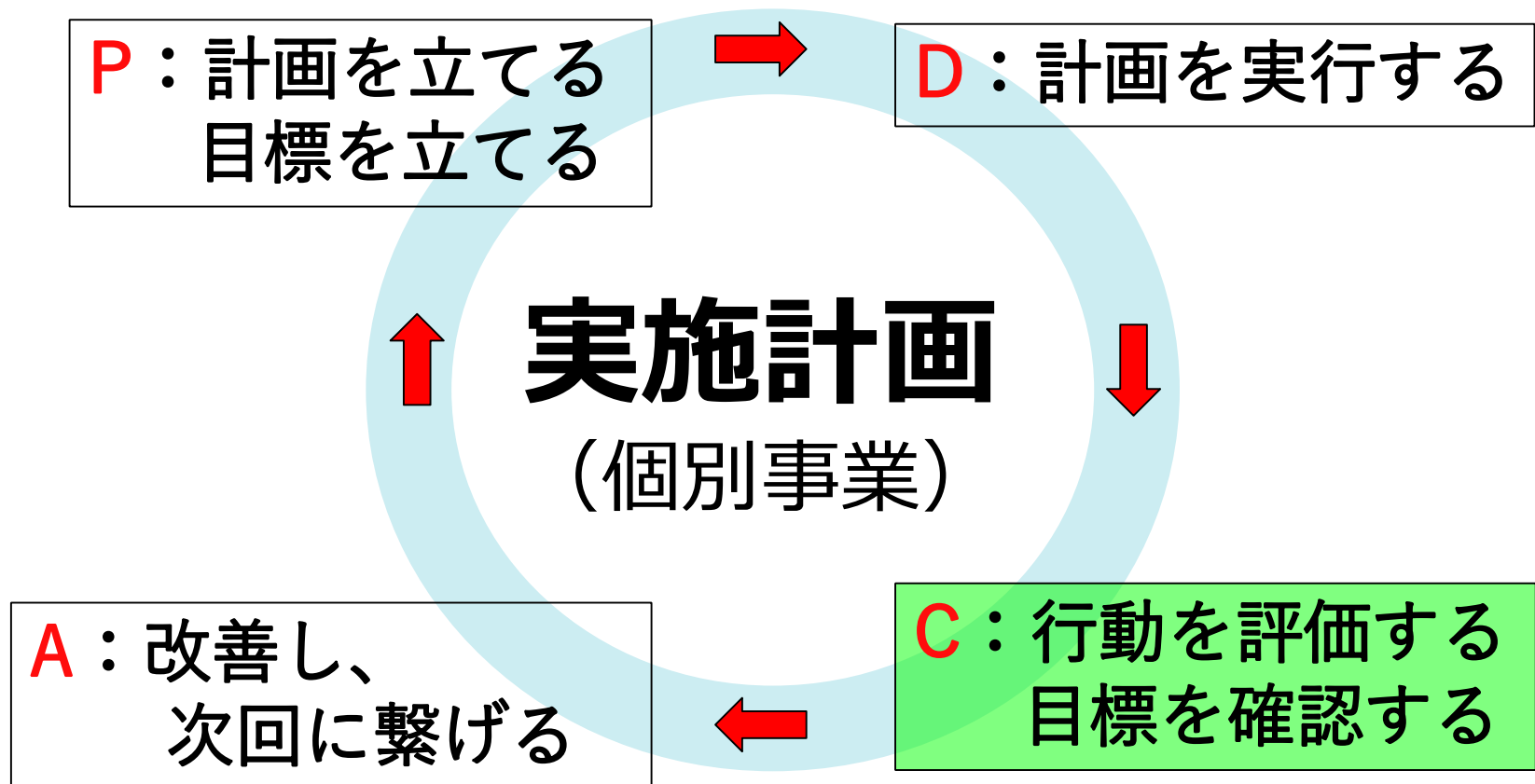
基本施策実施計画 [11事業]

基本施策実施計画 [14事業]

③総合計画の推進体制・PDCAサイクル

PDCAとは「**P**lan（計画）」「**D**o（実行）」「**C**heck（評価）」「**A**ction（改善）」の頭文字をとったものです。

業務の効率化を目指し、計画から改善までを「1つのサイクル」として行います。



2. 令和3年度の取り組みについて

新型コロナウイルス感染症緊急対応について

「地方創生臨時交付金」を活用した主な対応
【令和3年度 **29** 事業】

I. 感染拡大の防止

II. 雇用の維持と事業の継続

III. 経済活動の回復

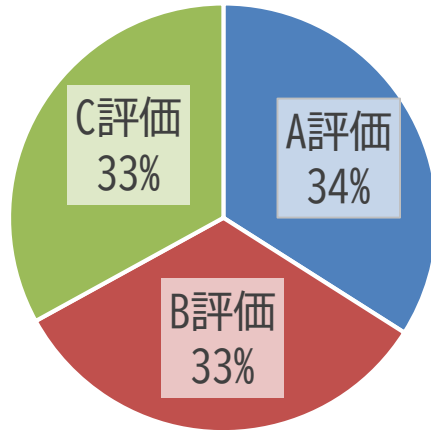
IV. 強靱な経済構造の構築

3. 総合計画目標指標の進捗について

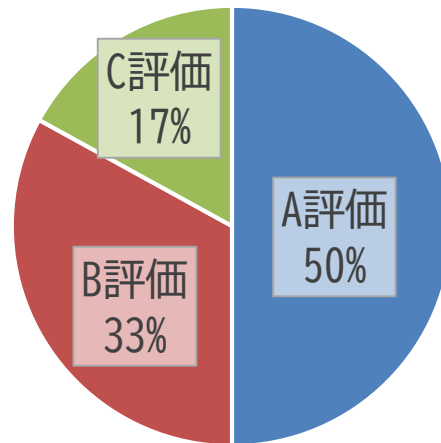
産業を振興し町民所得を向上させるまちづくり

産業・観光分野の指標の推移

令和2年度



令和3年度



【主な指標に関する考察】

③【第一次産業新規就業者数】については、漁協定置部乗組員における大幅な増があり「12人増（農業2人、漁業10人）」で、CからAの評価としました。

②【大槌魚市場水揚額】については、近年、顕在化してきた海洋環境の変化を背景に、スルメイカ、秋鮭の不漁が続いています。特に主要魚種である秋鮭の水揚量は0.5t（前年比2%）と大幅な減となり、昨年度と同様にC評価としました。

⑥【観光客入込数】については、新型コロナウイルス感染症によるイベント等の自粛が影響し、観光客数は前年と同程度の約8万5千人に留まっており、昨年度と同様にB評価としました。

指標	R2	R3	
①農地高活用転換面積	B	B	
②大槌魚市場水揚額	C	C	
③第一次産業新規就業者数	C	A	
④一人当たりの市町民所得の県内順位	A	A	
⑤釜石・大槌地域への新卒者就職率	A	A	
⑥観光客入込数	B	B	
合 計	A	2	3
	B	2	2
	C	2	1

▶ A評価…達成度が80%以上

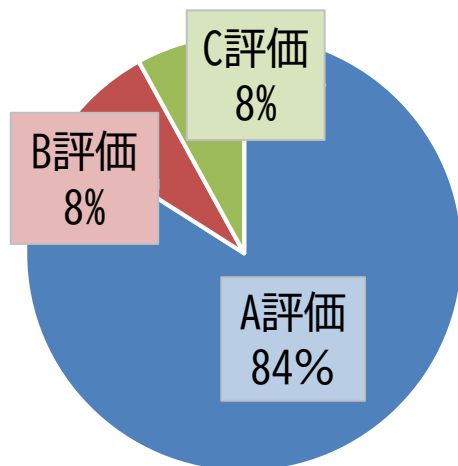
▶ B評価…達成度が50%～79%以下

▶ C評価…達成度が49%以下

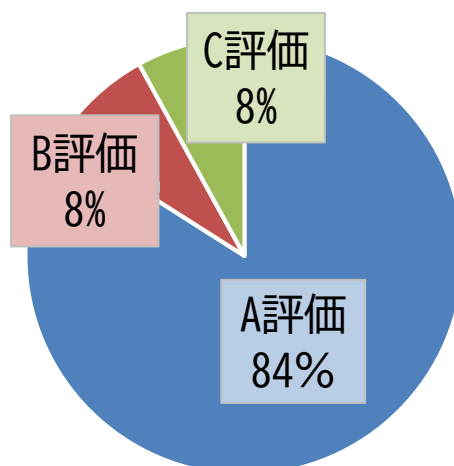
※達成度は、目標値を基準とした。

健康・福祉分野の指標の推移

令和2年度



令和3年度



【主な指標に関する考察】

⑤【待機児童数】については、民間保育所等が保育士等の確保に要する経費の補助など、保育環境の充実を図っており、前年に引き続き待機児童数0を達成し、昨年度と同様にA評価としました。

⑨【認知症サポーターの育成数】については、認知症相談件数が増加傾向にある中、認知症を理解し見守る応援者を養成する講座を開催し、前年から48人の増となり、昨年度と同様にA評価としました。

指標	R2	R3
①自治会・町内会等の組織数	A	A
②民生委員・児童委員充足率	A	A
③ボランティア登録者数	B	B
④児童数(11歳以下)	A	A
⑤待機児童数(4月現在)	A	A
⑥標準化死亡比(総死亡)	A	A
⑦要介護2以上の認定率(5年平均)	A	A
⑧大槌町高齢者等見守りネットワーク協定締結事業者数	A	A
⑨認知症サポーターの育成数	A	A
⑩施設入所者数	A	A
⑪施設利用者の一般就労移行者数(人/年)	C	C
⑫休日・夜間救急診療体制対応日数	A	A
⑬国民健康保険加入者一人当たり医療費	A	A
合 計	A	II
	B	I
	C	I

▶ A評価…達成度が80%以上

▶ B評価…達成度が50%～79%以下

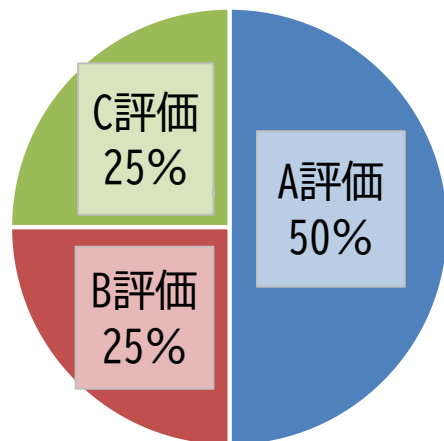
▶ C評価…達成度が49%以下

※達成度は、目標値を基準とした。

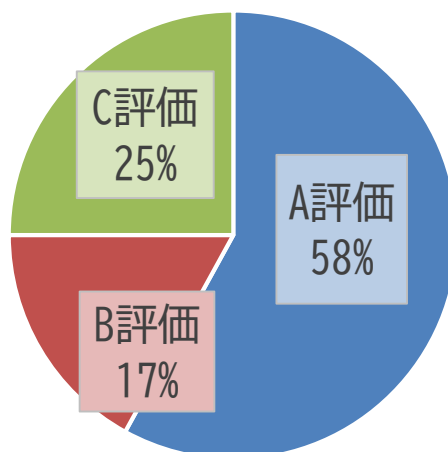
12 学びがふるさとを育て ふるさとが学びを育てるまちづくり

教育・文化分社の指標の推移

令和2年度



令和3年度



【主な指標に関する考察】

②【公民館（分館）活動等事業参加数】、
⑥【芸術・文化財事業参加者】、
⑧【図書館来館者数】、
⑨【図書貸出冊数】の参集活動の指標については、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症による活動自粛が影響し、利用者数は横ばいで、昨年度と同様に現状維持の評価としました。

⑫【震災伝承展示物の更新】については、目標値の年2回、写真パネル等を更新し、BからAの評価としました。

指標	R2	R3	
①自己肯定感を持った児童生徒の割合	A	A	
②公民館（分館）活動等事業参加者数	C	C	
③大槌高校の学級数	A	A	
④学校ボランティアの受入数	C	C	
⑤放課後学習施設登録児童数の割合	B	B	
⑥芸術文化・文化財事業参加者数 （町民文化祭・郷土芸能祭）	C	C	
⑦体育施設利用件数	B	B	
⑧図書館来館者数	A	A	
⑨図書貸出冊数	A	A	
⑩学校における校舎内内外の安全点検の回数	A	A	
⑪教員の職場環境に対する非ストレス度	A	A	
⑫震災伝承展示物の更新	B	A	
合 計	A	6	7
	B	3	2
	C	3	3

▶ A評価…達成度が80%以上

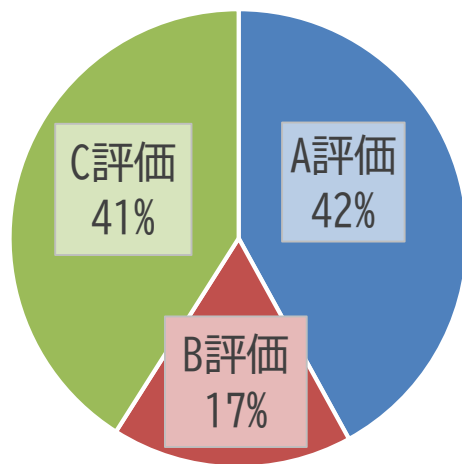
▶ B評価…達成度が50%～79%以下

▶ C評価…達成度が49%以下

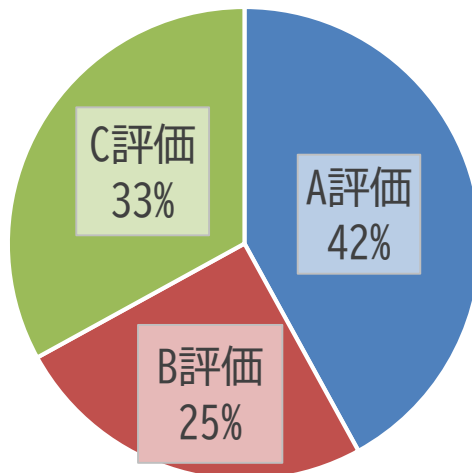
※達成度は、目標値を基準とした。

安全・快適分野の指標の推移

令和2年度



令和3年度



【主な指標に関する考察】

③【防災訓練実施数】については、感染症対策を踏まえた、避難所施設での防災訓練等を実施し、訓練回数は前年度2回から8回増の10回実施し、CからBの評価としました。

⑫【大槌駅乗車人数】については、令和2年度に引き続き、目標数の震災前の実績値238人(日)に対し、62人(日)と低水準で推移しており、昨年度と同様にC評価としました。
その背景には、人口減少と少子化による高校生の通学者数の減少が主な要因と考えられ、新型コロナウイルス感染症による社会経済活動の自粛等も要因の一部と考えられます。

指標		R2	R3
①地区防災計画作成済組織数		B	B
②防災に関する研修実施数		C	C
③防災訓練実施数		C	B
④消防団員数		A	A
⑤訓練・講習会実施数		C	C
⑥1人1日あたりのごみの排出量		B	B
⑦町内の交通事故件数		C	C
⑧大槌町インターネット施設加入率		A	A
⑨水道管耐震化率		A	A
⑩下水道水洗化率		A	A
⑪道路舗装率		A	A
⑫大槌駅乗車人数		C	C
合 計	A	5	5
	B	2	3
	C	5	4

▶ A評価…達成度が80%以上

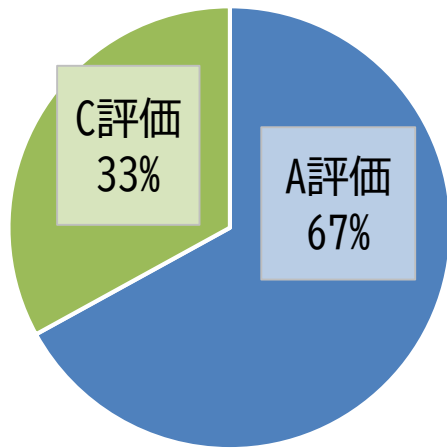
▶ B評価…達成度が50%～79%以下

▶ C評価…達成度が49%以下

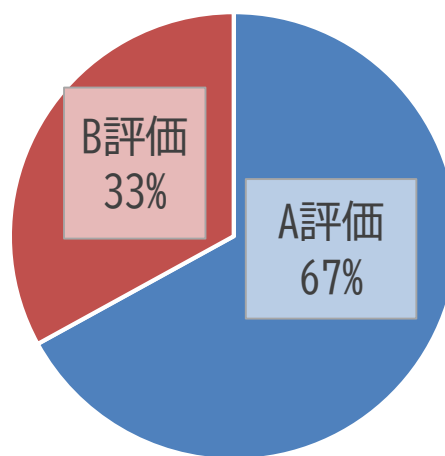
※達成度は、目標値を基準とした。

地域振興・行財政運営分野の指標の推移

令和2年度



令和3年度



【主な指標に関する考察】

②【UIターン総合相談窓口を活用した移住者数】については、前年度の11件から19件に、8件増加し、CからBの評価としました。19件のうち10件は地域おこし協力隊の着任によるものであります。

⑥【職員研修の実施回数】については、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度0回でしたが、オンラインでの実施体制を構築した上で5回実施し、CからBの評価としました。

指標	R2	R3	
①自治会・町内会等の組織数	A	A	
②UIターン総合相談窓口を活用した移住者数	C	B	
③地方自治法に基づく審議会等の女性比率	A	A	
④財政健全化判断比率の実質公債費比率	A	A	
⑤地方税の収納率	A	A	
⑥職員研修の実施回数	C	B	
合 計	A	4	4
	B	0	2
	C	2	0

▶ A評価…達成度が80%以上

▶ B評価…達成度が50%～79%以下

▶ C評価…達成度が49%以下

※達成度は、目標値を基準とした。

4. 令和3年度の主要事業について

- ①大槌ジビエソーシャルプロジェクト
- ②大槌町地域産業イノベーション事業
- ③大槌町移住・定住促進事業
- ④おおつちプロモーション事業
- ⑤ふるさと納税特産品贈呈事業
- ⑥大槌高校魅力化推進事業
- ⑦震災伝承プラットフォーム構築事業
- ⑧防災対策事業

①大槌ジビエソーシャルプロジェクト

産業振興課

① 大槌ジビエソーシャルプロジェクト

地方創生施策

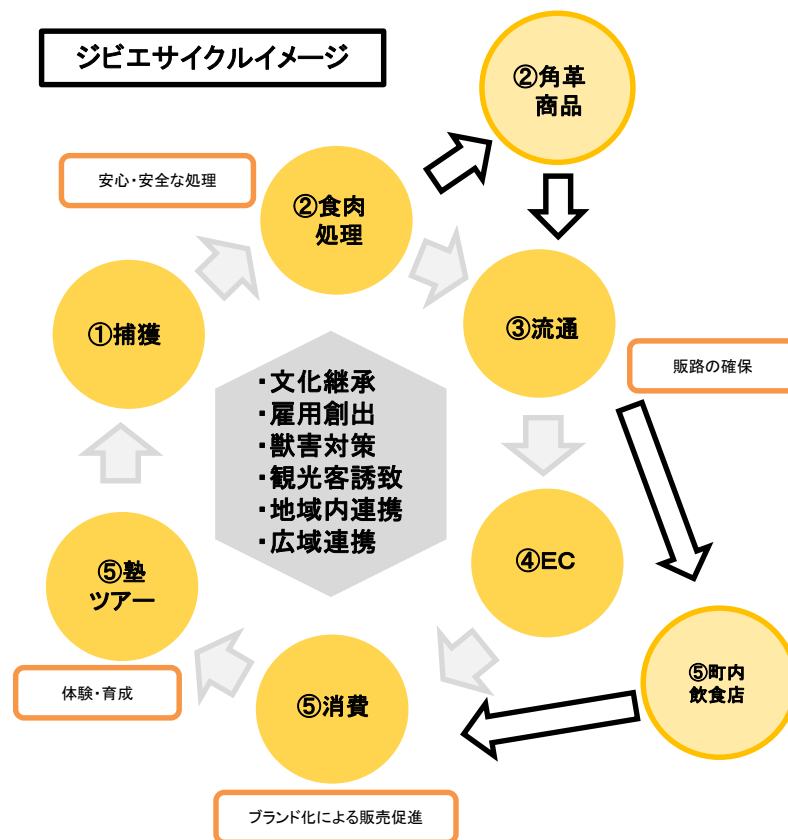
【概要】

(1)ジビエ基盤整備事業

町内において「捕獲」から「ハンター育成」までのサイクルを作り、持続可能なソーシャルビジネスの基盤を構築するとともに、ジビエ業界の好循環化に資する取り組みを行います。

(2)ジビエPR事業

ワークショップやジビエツーリズム等の多角展開・事業展開や、町内の取り扱い店舗と連携した観光客誘致及び交流人口拡大に資する取り組みを行います。



① 大槌ジビエソーシャルプロジェクト

地方創生施策

【令和3年度の実績・成果】

事業に係る交流人口

10,638人（うち観光客2,670人）

(1) ジビエサイクルに係る
関係人口 423人

(2) オンラインプラットフォーム
利用者数 2,875人

(3) PR事業の効果による
交流人口者数 7,340人



鹿肉試食会



鹿革キーホルダーワークショップ

① 大槌ジビエソーシャルプロジェクト

地方創生施策

【令和4年度の取り組み】

(1) ジビエサイクルの構築

- ①野生鳥獣を扱う食肉事業主体者自ら、鹿・個体捕獲業務に有する時間と仕組みづくりに重点を置いた支援を実施。
- ②起業・自立する為の担い手育成総合的サポート（マーケティング、セールス、ブランディング等）を開始。
- ③商品開発に向けた試作品の検証、町一体のジビエブランディング実施。
- ④ジビエ塾の運営
- ⑤ジビエツーリズムの開催

(2) ジビエPR事業

- ①ジビエ事業のPR
- ②オフラインイベントの開催
- ③オンラインフェアの開催
- ④大槌ジビエのプロモーション動画の製作

(3) 課題

令和4年度が地方創生推進交付金の最終年度になるため、令和5年度から自走するための体制構築が必要である。



②大槌町地域産業イノベーション事業

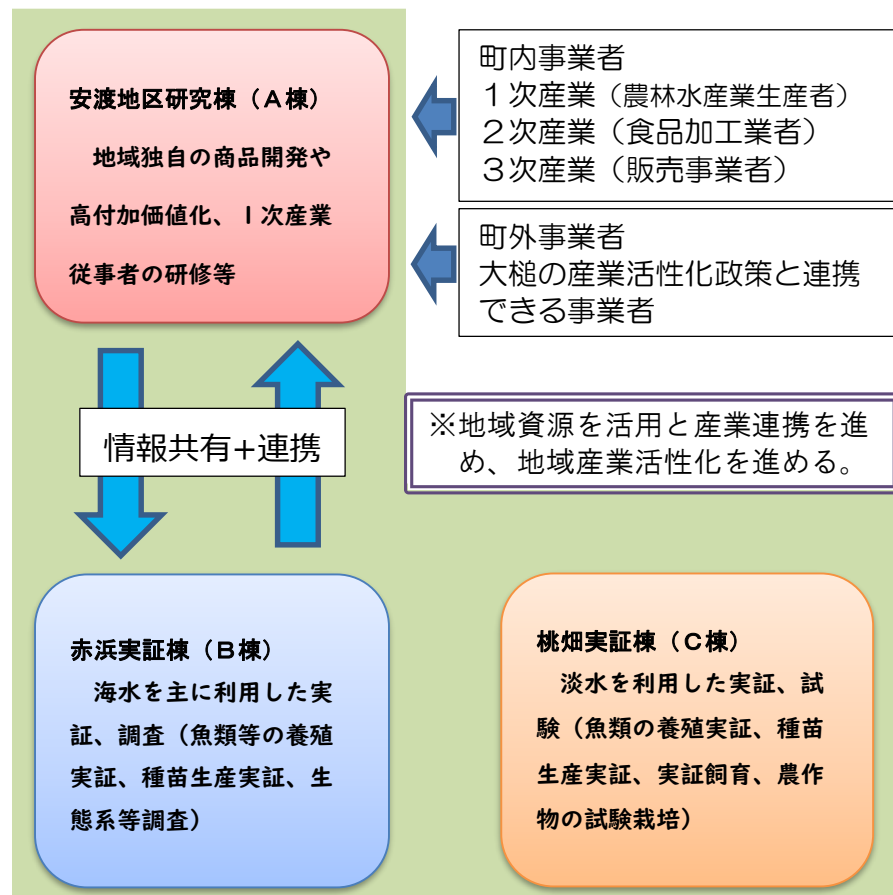
産業振興課

② 大槌町地域産業イノベーション事業

地方創生施策

【概要】

新産業創出のため、農林水産業生産物の養殖栽培実証を行い、新規種目や生産量の拡大を図ると共に、これら生産物を基に新たな加工品の開発や付加価値化を促進し、一次生産から二次加工販売までの一体的な産業の活性化を図ります。



② 大槌町地域産業イノベーション事業

地方創生施策

【令和3年度の実績・成果】

- 安渡研究棟（A棟） 稼働中
年間利用実数（R3）

件数 **928件**

人数 **4,540名**

- 赤浜実証棟（B棟） 稼働中R4一部改修

- ・海水を利用した実証、試験
- ・魚類の養殖実証
- ・ウニの蓄養実証

- 桃畑実証棟（C棟） 稼働中

- ・淡水を利用した実証、試験
- ・魚類の養殖実証
- ・種苗生産実証
- ・桃畑学園サーモンの出荷



A棟 安渡研究棟



C棟 桃畑実証棟



B棟 赤浜実証棟

② 大槌町地域産業イノベーション事業

地方創生施策

【令和4年度の取り組み】

(1) 取り組み状況

関係機関の尽力により、令和3年度よりギンザケ、トラウトサーモンの海面養殖が前倒しで事業化しています。

ジビエ事業についても拡大計画が進められており、今後も畜養ウニの実証研究や6次産業化など、一次産業従事者の取り組みを支援し、共に新たな産業の創出を推し進めます。

(2) 課題

今後は、稚魚等の増産に向けた取り組みが必要となります。



サーモン養殖の事業化が始まりました！

③大槌町移住・定住促進事業

産業振興課

③ 大槌町移住・定住促進事業

地方創生施策

【概要】

町への移住・定住を図るため、暮らしの場・しごとの場としての魅力の向上を図るほか、交流人口・関係人口の拡大に向けた情報発信やUターン者の受け入れ環境の充実を推進するものです。

1 移住・定住事務局の設置

2 地域おこし協力隊の誘致

3 移住者への支援

移住者支援金・空き家利活用支援・民間賃貸家賃支援

③ 大槌町移住・定住促進事業

地方創生施策

【令和3年度の実績・成果】

1 移住・定住事務局

令和3年12月に事務局を設置し、移住・定住コーディネーターを3名配置しました。
令和4年度の本格稼働に向けた体制づくりを実施しました。

2 地域おこし協力隊の誘致

町内4事業者と連携し、地域おこし協力隊10名を誘致しました。

3 支援施策

- (1) 民間賃貸住宅家賃支援補助金
14件 3,500千円
- (2) 空き家リフォーム・片付け補助金
3件 2,100千円
- (3) U I ターン就業支援
32件 2,250千円



③ 大槌町移住・定住促進事業

地方創生施策

【令和4年度の取り組み】

(1) 取り組み状況

移住・定住事務局

- ・移住コンシェルジュの設置
- ・移住・定住PRホームページの整備
- ・空き地・空き家バンクの整備

地域おこし協力隊の誘致

- ・受け入れ先事業者の拡大
- ・事務区局の体制強化

移住者への支援施策

- ・空き地対策に係る支援制度整備

(2) 課題

- ・移住者のニーズに合わせた、従来の支援制度の見直しが必要

ここから、はじめる。ここから、はじまる。

いてくれて、ありがとう。ここがあなたのふるさとです。

WHY

移住定住事務局の存在目的

みんなで、みんなの「居・色・自由」をかたちに。

WHAT

どのような価値を提供するか

あなたらしい暮らしをつくる。

HOW

どのような想いで届けるか

あなたに寄り添い、わたしたちを届ける。

おおつち
知る

大槌町を多種多様な目線
で発信し、「大槌ファン」の
拡充を図る。

おおつち
暮らす

大槌町に暮らす人・暮ら
したい人が知りたい情
報をまとめ発信する。

おおつち
働く

大槌町に魅力ある仕事・
魅力ある仕事人がいる
ことを認知してもらう。

おおつち
つながる

つながる人にあわせて
大槌町の濃淡様々な情
報を知れる場をつくる。

④おおつちプロモーション事業

産業振興課

④ おおつちプロモーション事業

地方創生施策

【概要】

町PRアニメーションの制作、アニメーションや有名声優等を活用し、web物産販売へも誘導するオンラインイベント「おおつちアニメフェスタ」を実施します。また、エンターテインメントコンテンツを活用、**町内商業者のデジタルトランスフォーメーション（DX）を支援**します。

DXによるオンラインイベント配信は、コロナ禍による密集・密接を避けることができる上、**場所や時間を超え「大槌町」をPR出来る**ことから、日本に留まらず**世界に東日本大震災への支援の感謝と復興の状況を伝える**ことが出来ます。

また、フジテレビが制作した大槌町を舞台の一つとして制作したアニメ映画「岬のマヨイガ」をPRしつつ、**町の魅力を全国に発信**します。

④ おおつちプロモーション事業

地方創生施策

【令和3年度の実績・成果】

全国のエンターテインメントコンテンツ活用の先進事例を調査勉強するとともに、町内での連携企画や町オリジナルアニメーションのアイデアをブレインストーミングする町内商業者との調査会を19回実施しました。民放全国放送アニメに当町スポット紹介、大槌駅にて当町ゆかりの映画に係る特別列車出発式の挙行、町内商業店舗で東北初の事例となる商業映画との連動企画等を実施しました。

①女性向け町PRアニメーションの制作

三陸♡おおつちPR大使の佐藤ひろ美氏プロデュースによる

②オンラインイベント「おおつちアニメフェスタ（仮称）」の実施

アニメーションや有名声優等を活用し、web物産販売へも誘導

③デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

SNS、音楽、演劇（コスプレ）等を活用、（一社）大槌町観光交流協会とコンテンツビジネス事業部会（仮称）を発足し、町内商業者のDXを支援する

④ おおつちプロモーション事業

地方創生施策

【令和4年度の取り組み】

(1) 取り組み状況

これまでに制作してきた「大槌カイ」は、主に女性ファンをターゲットとした男子キャラクターでしたが、男性ファンを獲得する作品の制作を予定しており、大槌ファンの拡大を図る。

また、アニメを活用した商業利用について、町内事業者と検討会を重ねながら、大槌町の新たな魅力活用について連携を図ります。

「大槌町へお越しく下さい」というアプローチも重要にしつつ、訴求力の高いアニメを活用し、新たな大槌ファンを獲得する為、多角的な魅力発信に取り組みます。



©SANRIKUTETSUDOU・大槌町観光協会 キャラクターイラスト：カズキヨネ

(2) 課題

コロナ禍に対応するため、物販については町内観光団体の特産品通信販売サイトを活用し、町オリジナルアニメーションゆかりの商業者商品とライセンスグッズを組み合わせる等の方策に取り組み、より幅広い浸透を図ります。

⑤ふるさと納税特産品贈呈事業

企画財政課

⑤ ふるさと納税特産品贈呈事業

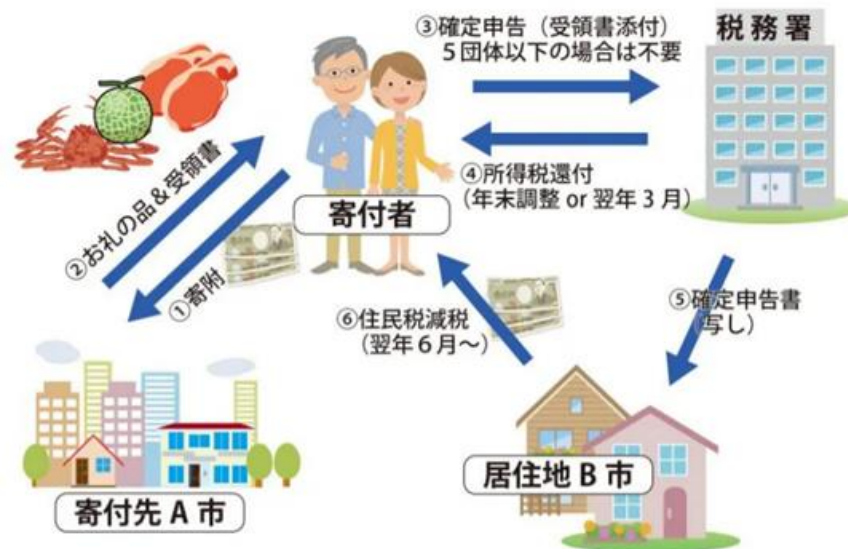
地域振興施策・
行財政運営

地方創生施策

【概要】

ふるさと納税推進会議では、実績報告、活動方針や寄附の使い道の決定をしております。

また、新しい特産品の掘り起し、事業者勉強会の開催、寄附者の税金控除等に必要な手続きの対応、寄附ポータルサイトの管理、事業者への発注指示等を大槌町観光交流協会へ委託しています。



○事業者数：**44社**

○返礼品数：**420品**

⑤ ふるさと納税特産品贈呈事業

地域振興施策・
行財政運営

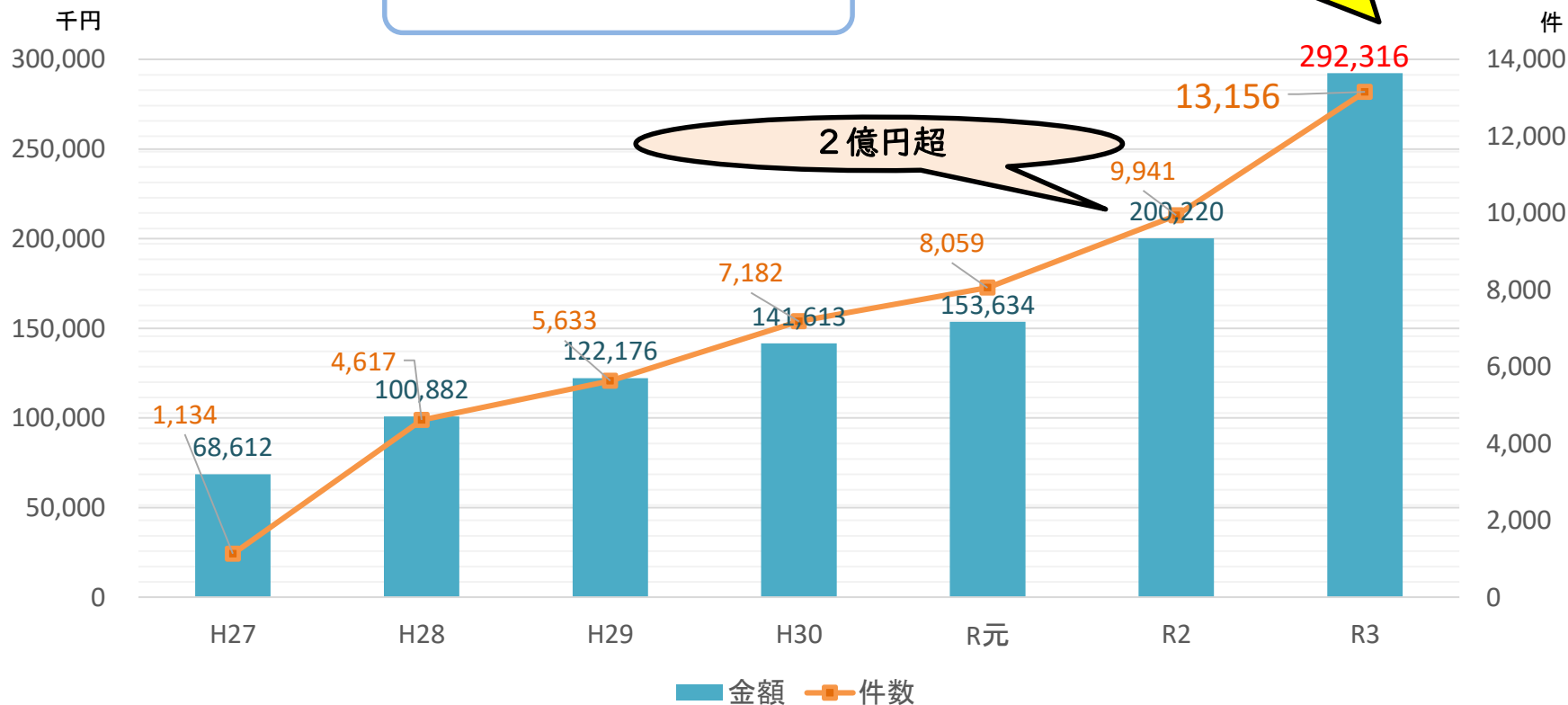
地方創生施策

【令和3年度の実績・成果】

寄附の件数と金額

寄附金額
約3億円

2億円超



⑤ ふるさと納税特産品贈呈事業

地域振興施策・
行財政運営

地方創生施策

【令和4年度の取り組み】

ふるさと納税による町の自主財源確保は、様々な施策を実現するための有効な手段であるとともに、地域資源を最大限に活用した地域経済の活性化に有効な取り組みです。

大槌町の特産品と事業者のPRを併せ、大槌町の魅力を発信や返礼品の充実を図ります。

また、返礼品をきっかけに大槌町を知っていただき、交流人口の拡大を図れるよう、引き続き取り組んでまいります。



大槌町ふるさと納税 【公式】ふるさとチョイスの返礼品

⑥大槌高校魅力化推進事業

学務課

⑥ 大槌高校魅力化推進事業

地方創生施策

【概要】

魅力的な高校づくりを県立高校と町が協働して行うことで、高校の安定的存続と人材の育成の実現を図ります。

大槌高校に専門の外部スタッフを複数名入れ、魅力化事業を推進します。

大槌高校のカリキュラムを見直し、大槌ならではの特色を活かした魅力あるカリキュラムづくりを支援します。

生徒の全国募集を行い、町外からの生徒を行け入れることで高校及び地域の活性化を図ります。



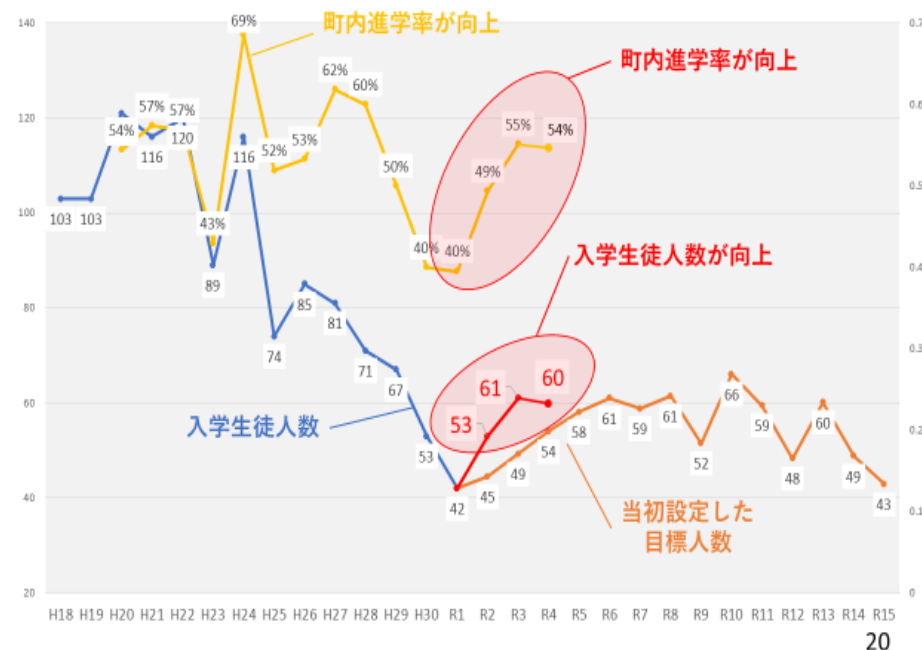
⑥ 大槌高校魅力化推進事業

地方創生施策

【令和3年度の実績・成果】

- 入学者数と町内進学率の増加
- 高校魅力化構想会議
3回開催
- 大槌高校独自のカリキュラム
「三陸みらい探究」の授業支援
 - ・1学年70時間
 - ・2学年70時間
 - ・3学年35時間
- 地域みらい留学フェスタへの参加
 - ・個別問い合わせ21組が参加
 - ・オンラインオープンスクールに9組が参加
 - ・このうち6名が大槌高校へ入学（令和4年度入学）

入学者人数と町内進学率の推移



⑥ 大槌高校魅力化推進事業

地方創生施策

【令和4年度の取り組み】

(1) 取り組み状況

都市部の中学生親子に向けた合同説明会「地域みらい留学フェスタ」にオンラインで参加し、来年度の生徒募集をするとともに、県外から大槌高校に入学した「はま留学生」の受入れ体制を整備しています。

また、地域の住民や町議会、東京大学大気海洋研究所、各学園、社会教育機関、地元企業等多様な主体で協働体制を組織し、地域全体で大槌高校の教育を応援します。

今後は、文部科学省事業の普通科改革支援事業により新たなステージに進む大槌高校の魅力を発信し、大槌高校生が地域で学び地域が活性化する取り組みを推進していきます。

(2) 課題

当事業で活用している地方創生推進交付金が令和6年度で終了するため、今後の体制作りや財源の確保に取り組む必要があります。



⑦震災伝承プラットフォーム構築事業

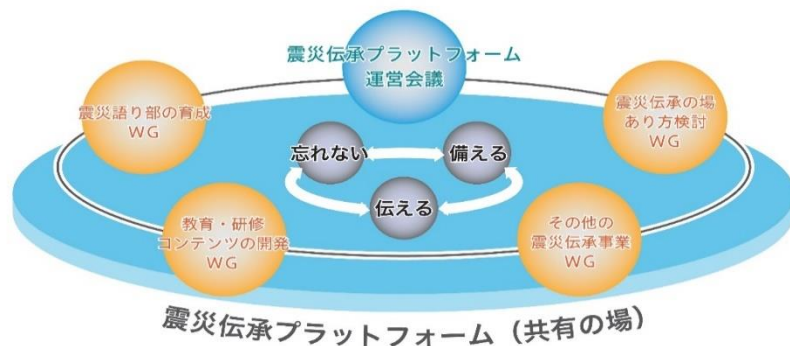
協働地域づくり推進課

⑦ 大槌町震災伝承プラットフォーム構築事業

地方創生施策

【概要】

- 東日本大震災の教訓や経験等を町内外に伝承するため、行政と町民、震災伝承に志のある団体、企業等が**協働で伝承事業を推進**し、町民等の震災伝承への意識醸成を図るもの。また、継続した取り組みを進め、伝承が町の文化となることを目指すもの。
- 震災語り部の育成や教育・研修旅行コンテンツの開発等の取り組みを通し、町外からの教育・研修旅行等の**交流人口の拡大**を目指し、観光施策等との連携も密に図りながら、町の活性化につなげていくもの。



⑦ 大槌町震災伝承プラットフォーム構築事業

地方創生施策

【令和3年度の実績・成果】

- 大槌町震災伝承プラットフォーム運営会議の発足。

開催数 3回（令和3年度実績）

- 震災伝承ワーキンググループを開催し、分野ごとに意見交換を行う。

開催数 7回（令和3年度実績）

- 語り部育成基礎講座テキストの作成

震災の出来事を振り返り、自分なりの考えを持つ事で、伝えられた経験を自分の経験や教訓にする内容で構成した。語り部の育成の基礎編講座として活用。



大槌町震災伝承プラットフォーム運営会議の様子



震災伝承ワーキンググループの様子



⑦ 大槌町震災伝承プラットフォーム構築事業

地方創生施策

【令和4年度の取り組み】

①(仮称) 震災語り部の育成

昨年度作成した基礎編講座を実施する。応用編の内容を作成して実施し、ガイド認定を行う。

- 語り部育成講座（基礎編）の実施
- 語り部育成講座（応用編）の内容作成及び実施
- 研修や視察等、ガイド活動の体制検討

令和5年度の取り組み

- ガイド活動の開始
- 研修コンテンツ等の担い手としての参加

②教育・研修コンテンツの開発

作成したコンテンツを研修旅行や震災教育へ活用するための関係者協議を行う。新たなコンテンツを一件開発する。

- 開発済みコンテンツの活用機会の創出及び実施
- 新たな研修コンテンツの開発
- 教育現場におけるコンテンツ活用に向けた協議

令和5年度の取り組み

- 研修コンテンツの実施強化
- 教育現場での実施

③震災伝承の場のあり方検討

町民の伝承の場への関わり方等について語り部や教育関係者へのヒアリング及び対話の場を続け、語るべきもの、語りたいものを整理し、その上で物を作る事が必要な場合は整備について検討していく。

- AR・VR技術を用いた整備
- 語り部や教育関係のヒアリング
- 対話の場の継続

令和5年度の取り組み

- ガイドや教育関係者、町民によるAR等の活用
- 対話の場の継続

④震災伝承意識の醸成

伝承に係る対話の場や学びの場を創出し、伝承事業の理解や町内外の伝承意識の醸成に向けて取り組む。

- 住民説明会及び震災伝承に係る講演会等の実施
- 被災地の伝承事例・先進地等視察を通じた研究
- 伝承団体等との連携体制構築、イベント等でのPR

令和5年度の取り組み

- 伝承について話す場の継続
- 新たな事業テーマの創出

⑧防災対策事業

防災対策課

⑧ 防災対策事業

防災行政施策

コロナ対応施策

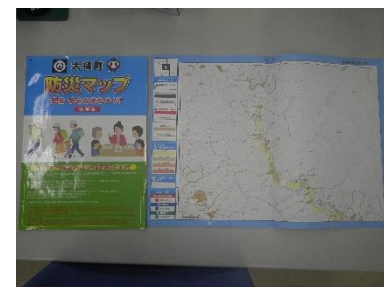
【概要】

(1) 防災・減災対策事業

災害に強いまちづくりを構築するため防災に関するハード・ソフト両面の対策を実施し、安心して安全なまちづくりを目指します。

(2) コロナ感染症避難所対策事業

災害発生時に開設する避難所において感染症を考慮した避難所運営を行うため感染症対策資機材の購入や職員向け避難所運営マニュアルの更新及び研修会を開催し、「公助」の強化に関する取組みを行います。



⑧ 防災対策事業

防災行政施策

コロナ対応施策

【令和3年度の実績・成果】

(1)防災・減災対策事業

【津波避難経路誘導看板の設置】

津波から命を守るため、町内の各所に避難誘導看板を設置しました。



(2)コロナ感染症避難所対策事業

【感染症資機材の購入】

- ・ファミリールーム 100基
- ・三連パーテーション 50個
- ・ウェットティッシュ 500個 など

【研修（訓練）の実施】

7/19 新採用職員や避難所運営に携わる職員を対象に研修（訓練）を実施しました。



⑧ 防災対策事業

防災行政施策

【令和4年度の取り組み】

(1) 新たな防災マップの作成

岩手県が作成した津波浸水想定などを反映した防災マップを作成します。

作成にあたっては、令和2年度に実施した過去の被害実績を収集したワークショップや令和4年度に実施した避難場所の見直しに係る意見交換会の内容についても反映を予定しています。



(2) 各種訓練の充実化

津波以外の自然災害を想定した訓練や職員向け本部運営部訓練など外部・内部問わず各種訓練の充実化を図ります。

- ① 大槌町津波避難訓練
- ② 風水害想定訓練
- ③ 本部運営部オペレーション訓練
- ④ ペット同行避難訓練

